

更新

事業者名	コンフォートハウス 株式会社
------	----------------

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

社会生活の基本単位である住まいを提供する企業として、「低炭素社会」「循環型社会」の構築を積極的に推進し、災害にも強く、安心・安全かつ快適で長く住み続けられる住まいを提供することで、持続可能な社会の実現を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及	ZEH受託率 2023年93%→2026年95%
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	高断熱の住まいの提供	Ua値(外皮平均熱貫流率)0.5以下の住宅の建築 2023年96%→2026年98%
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	新卒・中途採用の実施	新卒採用 2023年3名→2026年3名 中途採用 2023年5名→2026年5名

<パートナーシップ>

安心安全で快適な住まいの提供を目指す自社として、取引業者と協力業者会を設立し技術の向上や現場保全に努め、更には災害時における協力など信頼関係を構築すると共に、企業内部においても従業員一人一人が働きやすい環境であるよう整備を図る。

- ・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
- ・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
- ・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☑ 環境 ☑ 社会 □ 経済	・ZEH(ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス)の普及 ZEHを標準仕様にするにより、目標数値よりもかなり高い実績数値となった。	ZEH受託率 2020年 51%→2023年 65%	2023年93%
□ 環境 ☑ 社会 □ 経済	・高断熱の住まいの提供 Ua値0.5以下を標準仕様とすることで目標数値よりもかなり高い実績数値となった。	Ua値(外皮平均熱貫流率)0.5以下の住宅の建築 2020年 51%→2023年 65%	2023年96%
□ 環境 □ 社会 ☑ 経済	・新卒・中途採用の実施 積極的に採用活動を行い若い世代の労働力確保につながった。	採用実施の有無 2020年 一部実施 →2023年 実施	新卒採用2023年3名 中途採用2023年5名

- ・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。